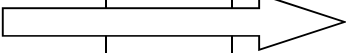


資料 2

高齢者等実態調査の実施に伴う部会の設置について（案）

1 計画期間

介護保険事業計画、高齢者保健福祉計画および認知症施策推進計画は、3 か年を計画期間とし、計画 3 年目に見直すサイクルとなっている。

区 分	令和 4 年 度	令和 5 年 度	令和 6 年 度	令和 7 年 度	令和 8 年 度	令和 9 年 度	令和 10 年 度	令和 11 年 度
第 9 期 計 画	調 査	策 定						
第 10 期 計 画				調 査	策 定			

2 高齢者等実態調査の目的

地域の高齢者の課題および介護サービス事業者の状況等を把握し、令和 8 年度に高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画および認知症施策推進計画を策定するための基礎資料とする。

3 部会での検討内容

高齢者の課題等を把握するため、「日常生活圏域高齢者ニーズ調査」等の国が示す必須項目以外の市独自項目および介護サービス事業者調査の設問項目について検討を行う。

4 今後の予定（仮）

8 月上旬	国が基本指針を提示
8 月中旬	部会にて調査項目等検討、調査票案作成
8 月下旬	運営委員へ調査票案を送付し、修正等なければ確定
9 月	調査票印刷、発送
10 月下旬	調査票回収・集計・結果分析
1 月	結果報告書作成
2 月	運営委員会報告

第 9 期青梅市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
および青梅市認知症施策推進計画の進ちょく状況について

1 評価の方法

令和 6 年度分の評価については以下のとおり実施した。

(1) 評価を実施した事業

令和 6 年度分については、地域福祉総合計画資料編に掲載されている取組指標のうち、令和 6 年度末時点の見込値が設定されている事業について、各担当課にて評価を実施した。

(2) 評価の方法

原則として、各事業の取組指標における令和 6 年度末時点の見込値に対する達成度（実績値）をもとに、以下の評価区分にもとづき評価した。

評価区分	見込値に対する達成度
A：想定以上に実施できた	100%超
B：想定どおり実施できた	90%超～100%
C：おおむね想定どおり実施できた	60%超～90%
D：想定より実施できなかった	0%超～60%
E：全く実施できなかった	0%

2 評価の結果

今回の評価対象 98 事業のうち、A 評価が 40 件、B 評価が 33 件、C 評価が 16 件となり、全体の 90.8%が実施できた一方、D 評価が 6 件、E 評価が 3 件となった。

評価区分	A	B	C	D	E
基本目標 1	16	12	7	5	0
基本目標 2	12	9	6	0	1
基本目標 3	12	12	3	1	2
計	40	33	16	6	3